

漢方製剤  
ボウ イ オウ ギ トウ  
**JPS防已黄耆湯エキス錠N**

防已黄耆湯は比較的体力がなく、疲れやすくて汗のかきやすい方の水ぶとり、肥満に伴う関節の腫れや痛み、むくみなどを改善します。余分な水分を尿として体外へ排出し、水分の代謝を調整する働きがあります。

本剤は漢方処方である防已黄耆湯の生薬を抽出し、乾燥エキスとした後、服用しやすい錠剤としました。

### ⚠ 使用上の注意



#### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
(1) 医師の治療を受けている人。  
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(3) 高齢者。  
(4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。  
(5) 次の症状のある人。  
むくみ  
(6) 次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

| 関係部位 | 症 状        |
|------|------------|
| 皮 膚  | 発疹・発赤、かゆみ  |
| 消化器  | 食欲不振、胃部不快感 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称           | 症 状                                                                |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------|
| 間質性肺炎           | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| 偽アルドステロン症、ミオパチー | 手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。                    |
| 肝機能障害           | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。                  |

- 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 効能・効果

体力中等度以下で、疲れやすく、汗のかきやすい傾向があるものの次の諸症：肥満に伴う関節の腫れや痛み、むくみ、多汗症、肥満症（筋肉にしまりのない、いわゆる水ぶとり）

## 用法・用量

| 年 齢       | 1 回量    | 1 日服用回数 |
|-----------|---------|---------|
| 成人(15才以上) | 4 錠     | 3 回     |
| 7才以上15才未満 | 3 錠     |         |
| 5才以上7才未満  | 2 錠     |         |
| 5才未満      | 服用しないこと |         |

食前又は食間に水又は白湯にて服用してください。

食間とは…食後2～3時間を指します。

## （用法・用量に関連する注意）

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

## 成分・分量 12錠中

防已黄耆湯エキス（4/5量）2.24 gを含有しています。

| 成 分       | 含 量   | 成 分       | 含 量   |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 日局ボ ウ イ   | 4.0 g | 日局オ ウ ギ   | 4.0 g |
| 日局ソウジュツ   | 2.4 g | 日局ショウキョウ  | 0.8 g |
| 日局タ イ ソ ウ | 2.4 g | 日局カ ン ゾ ウ | 1.2 g |

上記生薬量に相当します

添加物として、無水ケイ酸、ケイ酸Al、CMC-Ca、トウモロコシデンプン、ステアリン酸Mg、乳糖水和物を含有しています。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。）
- (4) 吸湿しやすいため、服用のつどビンのフタをよくしめてください。
- (5) 本剤は生薬（薬用の草根木皮等）を原料として使用していますので、製品により色調等が異なることがありますが、効能・効果にはわかりありません。
- (6) 本剤をぬれた手で扱わないでください。水分が錠剤につくと、錠剤表面が変色したり、亀裂を生じることがあります。
- (7) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店  
あるいは下記をお願いいたします。

ジェーピーエス製薬 お客様相談室

☎ 045-593-2136

受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構

[https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)

電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

## ジェーピーエス製薬株式会社

製造販売元 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台196-1

発 売 元 横浜市都筑区東山田4-42-22